

## 要望に対する主な措置状況

要望項目	結果の概要
<p><b>1 地方交付税の必要額の確保等</b></p>	<p><b>(1) 一般財源総額の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方交付税等の一般財源総額について、前年度を 0.7 兆円上回る 63.4 兆円を確保。</li> <li>・ 地方交付税総額について、前年度を 0.4 兆円上回る 16.6 兆円を確保するとともに、臨時財政対策債を前年度から 0.1 兆円下回る 3.1 兆円に抑制。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">                     地方税                    40 兆 9,366 億円 (前年度比 +7,733 億円)                      地方譲与税            2 兆 6,086 億円 ( 同    ▲1,037 億円)                      地方特例交付金        2,007 億円 ( 同    ▲2,333 億円)                      地方交付税            16 兆 5,882 億円 ( 同    +4,073 億円)  <u>臨時財政対策債</u>        3 兆 1,398 億円 ( 同    ▲1,171 億円)                      一般財源総額        63 兆 4,318 億円 ( 同    +7,246 億円)                 </p> <p>※ 一般財源総額は、東日本大震災分への一般財源充当分 421 億円を控除した額 (通常収支分)</p> <p><b>(2) 偏在是正財源を活用した歳出の計上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方法人課税の偏在是正措置による財源を活用して、地方団体が地域社会の維持・再生に向けた幅広い施策に自主的・主体的に取り組むため、新たに「地域社会再生事業費 (仮称)」を 0.4 兆円計上。</li> </ul> <p><b>(3) 会計年度任用職員制度の施行への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計年度任用職員制度が令和 2 年度から施行されることに伴う期末手当の支給等に係る経費について一般行政経費 (単独) 等に 1,738 億円計上。</li> </ul>

要望項目	結果の概要
<p>2 固定資産税の 安定的確保</p>	<p>(1) 償却資産に対する固定資産税の現行制度の堅持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定資産税が市町村財政を支える安定した基幹税であることに鑑み、償却資産に対する固定資産税の制度は堅持。</li> </ul> <p>(参考1) 森林環境譲与税の増額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害防止・国土保全機能強化などの観点から、森林整備を一層推進するため、地方公共団体金融機構の公庫債権金利変動準備金を5年間で2,300億円活用し、令和2年度は森林環境譲与税を400億円確保（前年度の200億円から倍増）。</li> </ul> <p>(参考2) 緊急防災・減災事業費の対象事業の拡充等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定避難所や災害拠点施設等の浸水対策や防災インフラの整備の推進のため、地方財政措置を拡充。</li> </ul> <p>【対象事業の拡充】</p> <p>○緊急防災・減災事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定避難所や災害対策の拠点施設等の浸水対策（電源設備等の嵩上げ・上層階への移設、機械施設等への止水板・防水扉の設置等） 等</li> </ul> <p>＜参考＞緊急防災・減災事業債 充当率：100%、元利償還金に対する交付税措置率：70%</p> <p>○緊急自然災害防止対策事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路防災（法面・盛土対策、冠水対策等） 等</li> </ul> <p>＜参考＞緊急自然災害防止対策事業債 充当率：100%、元利償還金に対する交付税措置率：70%</p>